

高齢者のやすらぎの家 やまね

だより 42号



発行者 ボランティアグループ なの花
会長 森田 元治
発行所 792-0834 新居浜市中西町 16-20
「やまね」Tel 0897 41-0104
発行日 2013. 7. 10

介護保険のはなし

やまねでは、6月24日13名が参加し、出前講座を利用し「介護保険のはなし」を曾我部介護福祉課長に聞きました。

今回はとくに、新居浜市の「介護保険料はなぜ高い」を中心に話してもらいました。

はなしの中から理由をいくつかを挙げてみます。

- 1) 介護認定を受けている人が多い。そのため利用者が多くなり、介護サービス料つまり利用料も高くなる。それにつれて保険料が高くなる。保険料は四国一高い。
- 2) 保険料を下げるには介護サービス料すなわち利用料を下げることである。
- 3) 市の保険料は平成24年度が118億円。25、26年度はいずれも120億円を越えると想定。
- 4) 市の介護サービスは利用しやすい状況にある。
- 5) 特養ホームを増設したら、在宅サービスの利用が減るだろうと推定したが、逆に増えた。このことも保険料アップの要因の一つである。
- 6) 特養ホームの入所順は、介護度を検討し3か月ごとに順番を見直している。
- 7) 保険料が高くなるようにするには、要介護認定などの適正化をすすめる必要がある。
- 8) 介護保険制度は、制度の見直しが迫られている。国は、要支援のサービスを見直そうとしている。

利用者からの質問

ホームヘルパーに依頼できるサービスの範囲、例えば自家用車での買い物はしてもらえるのか。

七夕祭り

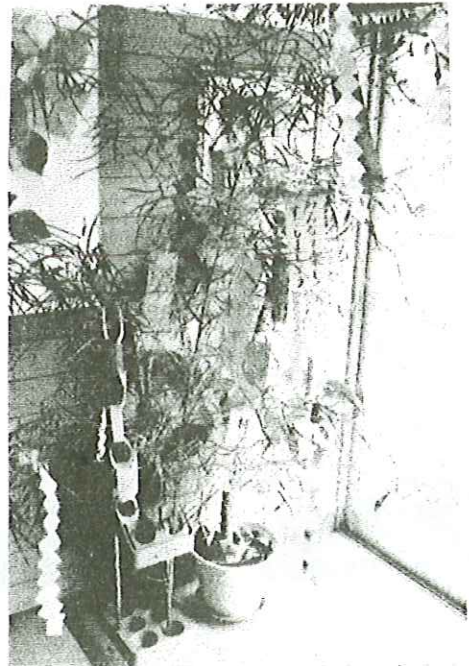
七夕の日を前に、やまねの利用者やボランティアにお願いして飾りつけをしました。

それぞれ思いを込めて短冊に書いてもらいました。

書かれたことは、健康や家内安全などが多くみられました。

その気持ちはだれも同じことだと思いました。

みんなの思いを七夕さんはきっと叶えてくれるでしょう。



原爆パネル展のご案内

8月6日広島、9日長崎に原子爆弾が落ちてこと
して68年になります。この日に合わせて広島、長
崎では、原爆死没者の慰霊祭や被爆者団体の大会が
行われます。

新居浜では市や原爆被害者の会が主催して原爆
パネル展と体験者のはなしをしています。

高齢者のサロンやまねが主催で、次のように原爆
パネル展と体験者のはなしを開催することにいたし
ますので、ぜひご参観くださいますようご案内いた
します。

また、原爆体験者のはなしを聞きたいと思われる
方がありましたら、主催者までご連絡ください。

41-0104 (森田)

原爆パネル展

日時 平成25年8月1日(木)~3日(土)

午前9時~午後4時

会場 角野公民館 1階

入場無料

展示物 原爆被害状況のパネル写真

原爆に関する絵本、マンガなどの出版物

ビデオ上映 はだしのゲン

原爆被害者の体験者のはなし



長崎 平和祈念像



広島 原爆の子の像

主催 高齢者のやすらぎの家 やまね 連絡先 41-0104 (森田)
後援 愛媛県原爆被害者の会 新居浜支部

ボランティアの研修

愛媛県ボランティア連絡協議会の研修が、6月29
日松山の県総合社会福祉会館であり、「やまね」から
も参加しました。約160名の参加でした。

講師は、東日本災害などでボランティアとして活動
されてきた桑原秀文さんです。

研修内容は、「今、求められる災害ボランティア・
生活支援活動とこれから」です。

話の中から印象に残ったことを箇条書きで拾い出
しました。

1. 災害時の三種の神器

高齢化して後継者がいない。場所がない。金がない。

2. 隣、近所の“近助”がなくなっている。なにか起
こるとすぐ警察や役場に連絡する。それでいいの
か。

3. 個人情報への緩和は、法改正はあったが、不十分だ。
非同意者名簿をつくり役立てることを考える。

4. ボランティアは被災者からありがとうと言われ
たが、その裏側にある真意を汲み取ることができ
たか。

5. 被災活動の支えは、被災した人へのニーズだけで
なく、それ以前からあったニーズにも支援ができ
たか。

6. ボランティアは、被災者を支えることは考える
が、自分がどう支えられるかを考えることも大
事。

アルミ缶やプルタブの

ご提供ありがとうございます

アルミ缶やプルタブを多くの方から社協を
通じて、また直接やまねに持参していただいている
ことに心から感謝申し上げます。

これからもよろしくご協力の程をお願いいたします。